

現代のハワイ（1900年～）

属領としてのハワイ

1900年～1959年

併合後、ハワイが属領だった59年間、ハワイ住民は所得税を払い、大統領が裁判官と知事を任命し、選出する下院議員には発言権のみで投票権がありませんでした。

1902年から1922年までこの議員を務めたのは Jonah Kūhiō Kalanianaʻole（ジョナ クヒオ カラニアナ オレ）。海兵隊のために真珠湾浚渫を推進し、

1920年には Hawaiian Homes Commission Act を可決に導き、Order of Kamehameha および Hawaiian Civic Clubs を発案した人です。

1900年代初期のパイナップル産業

Sabird Ballard Dole の甥である James Dole がオアフ島の中心地に位置する Schofield Plateau（スコフィールド平野）で初めてのパイナップル農園を発展させました。

このときも以前と同じく、海外から労働者を受けいれます。

1959年—州へと昇格

1959年、ハワイは米国50番目の州に承認されます。

人口のつぼみハワイ：移民

欧州と米国

クックが上陸してからの1世紀中に、何千人もの航海人、探検家、商人、そして宣教師たちがハワイ諸島を訪れました。長期滞在し、商売や農業を営む者も大勢見られました。

1800年代初期には砂糖業や牧場が発展。ハワイ州となつてからは米国移民が押し寄せ始めます。1830年代にはメキシコから牧場にカウボーイが受け入れられ、スペイン語の Espanol から派生してハワイ語に Paniolo（カウボーイ）という言葉が生まれました。

東洋と欧州

1778年にはハワイの人口は30万人といわれていましたが、1850年に初めて実施された人口調査では84、165まで激減しており、1876年までには53、900まで減少します。人手が足りず、砂糖農園は労働者を海外から受け入れざるを得なくなります。

1850年代にハワイに渡ってきた最初の働き手は中国人でした。その後1868年に少数の日本人が移住してきます。Kalākaua 王による移民同意後、ポルトガル人もアゾレス諸島とマディラからやってきました。最大の労働者群となったのは1880年代に受け入れた日本人。1890年にはプエルトリコ人も見られるようになります。1800年代末に興ったパイナップル農園でも人手が必要となり、1906年には多数のフィリピン人がハワイの土を踏み、スペイン人、沖縄人、韓国人がこれに続きました。

太平洋と極東

最近の移民としては太平洋地域からのサモア人（アメリカンサモアは米国市民）やトンガ人、タイス、またベトナムやラオス、カンボジアからの難民が挙げられます。

各民族のアイデンティティーとなる風習、振る舞い、そして伝統を守りながら共に暮らしていくことをハワイの人々は学んでいきました。このような多民族社会のハワイでは、音楽、工芸、食物、「混合語」の全てが「ローカル」と呼べるものを織り成しているのです。

建築物

現代の豊かな伝統と多種文化にとって、建造物は生きたテキストのようなものです。

ポリネシア形式

アルファベットの A の形をした屋根。棟木を 2 重にして水が家に入らないようにしてあるのがハワイ式の特徴。

その地域で取れる草を利用した草ぶき屋根。覆い用に最も適したのは Pili (ピリ) 草。特に葉が平らな pili は屋根用に、典型的な pili は壁用に使用されています。

窓はありません。玄関口は低く、扉は見られません。土台と床にはリバーストーンが適しています。

タヒチ式やマラカス式にも見られるように、家の構造は正方形または長方形。

ワンルームの家々が集まり、家族用のコンパウンドまたは重要な場を形成しています。

海外から導入された形式

西欧式

1800年代初期には西欧の影響が見られ始め、加工した材木、釘、ガラス窓、ドア、シャッターなどが使われるようになります。この西欧式デザインが珊瑚(壁や防御用)、海の砂利、ラバ、ブルーストーン(デンス、ヘビー、古代ラバ)、スタッコ使用の引き金となりました。

東洋

中国式

明るい色(ペイント)、特に赤色が用いられ、棟などのラインは見事に装飾、角は上向きにカーブし、窓や玄関口は丸形で(ムーンゲート)、タイルの屋根にはうわぐすりがかけられてあります。

日本式

柱や梁を隠さず、壁には石膏、半透明の窓(紙) shoji やスライド式の仕切り/ドア fusuma が用いられ、一段下がったところに狭いポーチ engawa があり、内外のハーモニーを重視した造りになっています。

その他

竹などを用いたアジア風構造

欧州

ハワイの指導者たちが海外で目にしたものを手本とし、1800年代半ばには公共建築物に欧州のデザインが用いられるようになりました。フレームの構造にはハワイの気候に適応するよう工夫したビクトリア式が使用されています。

1800年代後半までには、伝統的な民族スタイルが教会、伝道所、寺、神社に取り入れられるようになります。屋内式中庭や頑丈なタイルフローアー、上塗りの施されていない瓦屋根、装飾付きでときには機能性のある鉄、厚い日干し煉瓦造りに似た壁などはスペインとポルトガルの影響です。家々には米国の南西州で見られる造りが用いられるようになりますが、一枚壁や配管を隠さない点など、ハワイ様式に変化していきます。1900年代初期には強化コンクリートを使って大型の建物も建造されるようになりました。

進化

プレハブの便利さと、素早い資金上の見返りを求める故に忘れられていた技術に誇りが戻ってきました。
シンプルな建造技術に手を加えていく上で数々のスタイルやデザインが取り入れられ、その建築技術が融合して今日ある新しい構築物が見られるようになりました。
昔は自然発生する貿易風を利用して室内で快適に過ごせるように造られていましたが、今日のホテル、コンドミニアム、オフィスビルなど、何十もの廊下が連なる建物が集まると、冷房が不可欠になります。
建物の上階を下階より引っ込めるセットバックの義務化、裏道駐車、植林など、路上からの景観を保持するために様々な規則が試みられました。

歴史に見られる保護政策

歴史的な保護政策は以下の重複期間に集中しています。

君主制の時期	1893年まで
宣教師の時期	1820年から19世紀半ばまで
東洋の時期	アジアから初の契約労働者が到来した1850年代から
君主制廃止後	1893年から1941年まで
現代	1900年から今日まで

土地の所有権

ハワイ政府と、一握りの私有地地主が、ハワイの大部分の土地を保持していました。

ビショップエステート/カメハメハ学校

1883年、Bernice Pauahi Bishop 王女（バーニース パウアヒ ビショップ）の従兄弟、Ruth（ルース）王女が彼女に35万エーカーの土地を残したのを機に、彼女はハワイで最大の土地所有者となりました。Bernice は生前にカメハメハ学校設立を願う遺書を書き、彼女の所有地はこれらの学校に必要な費用を調達するために当てがわれることとなります。今日、ハワイ全土の8%を占める34万エーカーものビショップエステートは、ハワイ最大の私有地です。

政府所有の土地

1898年にハワイが米国に併合された際、約2百万エーカーもの土地が米国に譲渡されました。1900年にハワイが属領になった際は、公園や軍事基地用として連邦政府がある程度の土地の管理権を保持。残りの土地は領土政府により管理されました。1959年に50番目の州へと昇格した際、連邦政府は譲渡された土地の幾分かを引き続き利用し、残りをハワイ州に返還しました。

ハワイのホームステッド法

1920年のThe Hawaiian Homes Commission Act は、ハワイ人の血を少なくとも1/2受け継いでいる者を対象に20万エーカーの公共地を99年間ホームステッドリースするというものでした。

借地

ホームオーナーが入手できる土地に限りがあるという事実の中で、土地を長期リースしてホームオーナーが暮らすという形態ができあがりました。1985年、米国最高裁判所は1967年に施行されたHawaii Land Reform Act の合憲性を認め、この転化は今日になって広く受け入れ始めています。

現代のハワイ – サンプルテスト

- 1) 1902年から1922年にかけて、発言権のみで投票権を持たなかった下院議員は誰？
 - A) James Dole
 - B) Jonah・Kūhiō Kalanianaʻole
 - C) Samuel Amalu

- 2) カメハメハ学校設立の遺書を残したのは誰？
 - A) Edward Liholiho 王子
 - B) Bernice Pauahi Bishop 王女
 - C) Victoria Kamāmalu

- 3) ハワイのホームステッドランドが指定されたのは何年？
 - A) 1933年
 - B) 1921年
 - C) 1920年

- 4) 99年間に渡るハワイのホームステッドリースの対象になったのは誰？

- 5) Sanford Ballard Dole はオアフ島中心地の Schofield 平野に初のパイナップル農園を
発展させた。【正解/誤り】

- 6) 多民族社会のハワイにとって、音楽、工芸、食物、「混合語」全てが融合したものを
と呼ぶ。
 - A) Loco
 - B) Mok
 - C) Local

- 7) 1989年にハワイで人口が最少だったのは
 - A) 黒人
 - B) ハワイ人
 - C) その他

- 8) 1991年、ハワイでの最大の土地所有者は
 - A) 連邦
 - B) 州と群
 - C) 個人

- 9) ハワイ最大の私有地保有者は 。

- 10) 1991年、何パーセントの土地を州と群が保有していた？

- 11) ハワイのシビッククラブ？
 - A) Jonah Kūhiō Kalanianaʻole
 - B) King David Kalākaua
 - C) Rev. Hiram Bingham

- 12) 建造物の「東洋の時期」にあたるのは
- A) 1820年から19世紀半ば
 - B) 1840年から1890年
 - C) 労働者がアジアから来始めた1850年代から
- 13) ハワイの草造りの家に見られる特徴とは
- A) 大きな玄関口
 - B) 広い軒
 - C) 2重の棟木
- 14) 誰によって西欧建築の影響がもたらされた?
- A) クックとバンクーバー
 - B) 初期の捕鯨船員
 - C) 宣教師
- 15) 宣教師たちの最初の永住用住宅に見られる特徴は
- A) プレハブ材
 - B) スライド式の仕切り壁
 - C) ハワイの赤土で作られたタイル屋根
- 16) 室内と室外のハーモニーをローカルの住宅に取り入れようと試みたのは
- A) 中国人
 - B) ポルトガル人
 - C) 日本人
- 17) 欧州のスタイルを用いた公共建築物がハワイ君主により促進されたのは
- A) 海外の指導者を驚嘆させるため
 - B) 海外を旅したハワイの王によって
 - C) 少ないメンテナンスで長持ちする建物が必要だったから

答え

- 1) b. Jonah Kūhiō Kalanianaʻole
- 2) b. Princess Bernice Pauahi Bishop
- 3) c. 1920
- 4) ハワイ人の血を 1/2 持つ者
- 5) 誤り
- 6) c. ローカル
- 7) b. ハワイ人
- 8) c. 個人
- 9) Bishop Estate
- 10) 30%
- 11) a. Jonah Kūhiō Kalanianaʻole
- 12) c. 初の労働者がアジアから来始めた1850年代
- 13) c. 2重の棟木
- 14) c. 宣教師
- 15) a. プレハブ材
- 16) c. 日本人
- 17) b. 海外を旅したハワイの王によって